令和５年度　第２回（第７期第１回）新宿区産業振興会議　議事要旨

【日　時】　令和５年１１月１４日（火）午後６時～８時
【場　所】　ＢＩＺ新宿（区立産業会館）　多目的ホール
【出席者】　委　員：植田、遠山、長山、笠井、則竹、捧、窪川、井上、富田、平山、伊藤、篠崎、平野、各委員
事務局：鯨井文化観光産業部長、市田産業振興課長、吉田産業振興係長、前田産業振興主査、
山本主任、阿部主事
【欠席者】　なし
【傍聴者】　なし
【配布資料】　省略
【内　容】

１　開会
２　区長挨拶
３　委員委嘱
４　委員自己紹介
５　議事

（1）会長の選出・会長挨拶
新宿区産業振興会議規則第４条の規定に基づき、互選により植田委員を会長として選出した。

（2）副会長選出
新宿区産業振興会議規則第４条の規定に基づき、会長が遠山委員および長山委員を副会長に指名した。

（3）第７期検討事項について
資料２に基づき、事務局より説明した。

６　主な発言内容

・中小企業の現状に合った形の経営支援や、新宿区がどういう方向に発展していくべきなのかを考えたときに必要な経営支援と創業支援について議論していきたい。
・若い人は区の経営支援を上手く活用できるかもしれないが、50 代 60 代になると相談の仕方がわからない可能性があり、相談に行ける場があることを伝える方法があればよい。
・新宿区で創業して成功した人がシンボルになるようなことも考えてもよい。
・長年空き家になっているようなところを放置せずに新しい創業者に安く貸す制度などを考えてもよい。
・AI が現実のツールとして入ってきており、第 7 期の報告書をまとめる 2 年後にはさらに AI の影響が大きくなっていると思われる。したがって、AI を活かした中小企業のビジネスについてなど、未来を先取りするようなことを議論することも創業支援につながるかもしれない。
・創業支援の強化と経営支援の強化の 2 つのテーマを第 7 期で検討していくことは賛同するが、進め方としてそれぞれがバラバラにやっていくというよりは一体として進める方がよい。
・今後の 5 年 10 年を考えた場合に、少子高齢化対策の企業版として創業支援は必要と考える。
・90 年代までは創業しても残存率が高くなかったが、2000 年代以降は女性の起業家の割合が増えて残存率が高くなっているというデータがあり、また、ビジネスサポートセンターのような場所に相談している女性起業家ほど残存している。このことにフォーカスして支援することは 1 つの手段といえる。

7　次回日程について（予定）

産業振興会議

日　時：令和６年２月

会　場：ＢＩＺ新宿

8　閉　　会